

## 世界の運転中原子力発電所の運転期間別基数

2026年1月1日現在

(一社) 日本原子力産業協会

国・地域	0～10年	10～20年	20～30年	30～40年	40～50年	50～60年	合計	世界比率
米国	3		1	26	33	31	94	21.7%
フランス			4	20	32		56	12.9%
中国	28	21	6	3			58	13.4%
日本		2	6	16	7	2	33	7.6%
ロシア	8	3	2	7	10	3	33	7.6%
韓国	4	4	9	7	2		26	6.0%
ウクライナ		1	2	7	5		15	3.5%
カナダ				7	10		17	3.9%
インド	4	6	5	5	2	3	25	5.8%
スペイン				3	4		7	1.6%
スウェーデン					6		6	1.4%
英国				9			9	2.1%
UAE	4						4	0.9%
フィンランド	1				4		5	1.2%
チェコ			2	3	1		6	1.4%
パキスタン	4	1	1				6	1.4%
スイス					2	2	4	0.9%
スロバキア	1		2		2		5	1.2%
ベラルーシ	2						2	0.5%
ベルギー					2		2	0.5%
ブルガリア				2			2	0.5%
ハンガリー				2	2		4	0.9%
ブラジル			1		1		2	0.5%
南アフリカ					2		2	0.5%
アルゼンチン	1				1	1	3	0.7%
メキシコ				2			2	0.5%
ルーマニア		1	1				2	0.5%
イラン		1					1	0.2%
スロベニア					1		1	0.2%
オランダ						1	1	0.2%
アルメニア					1		1	0.2%
計	60	40	42	119	130	43	434	100.0%
比率	13.8%	9.2%	9.7%	27.4%	30.0%	9.9%	100.0%	
運転年数	0～10年	10～20年	20～30年	30～40年	40～50年	50～60年	合計	

(注) 「世界の原子力発電開発の動向2026」、IAEA・PRIS、WNA “Information Library”などを参考に作成

- ・国名は運転中原子力発電所の設備容量の順に並んでいる。
- ・運転期間は、営業運転開始から2026年1月1日迄の期間。
- ・表中の運転期間について、例えば「10～20年」は10年以上20年未満を意味する。
- ・上表は、過去10年スパン毎の営業運転開始基数を示しているとも言える。但し、運転期間が長くなるにつれ、一部の原子炉が途中で閉鎖しているため、基数は少なくなっている。